

カテゴリー	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																				
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
																									
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ				3.9				6	7					12	13.3	14	15					
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ														12.6								
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	・【予定】グリーン電力等の使用について検討する。								7.2							13						
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	・【予定】更なるペーパーレス化の推進と、認証製品の利用を検討する。													12.2	13	14	15					
22		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	・就業規則に汚職・贈収賄禁止を明記し、社内浸透を図っている。																		16	16.5		
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	・経営方針の中で、お客様に信頼と期待をされるよう公正な経営を行うことを全社員に発信している。																			16		
24	公正な事業慣行	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	・客先と機密保持契約を書面で交わし、知的財産保護に取り組んでいる。									8.2	9											
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	・就業規則に個人情報の漏洩・持出しの厳禁を明記し、社内浸透を図っている。																			16		
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	・該当する可能性があるものについては、材料仕入商社に調査を依頼し、保証書・証明書にて確認している。																				16	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	・サプライヤーとの面談の機会を定期的に設け、対話を通じ互いの認識の共有に努めている。					5					8		10		12	13	14	15	16	17		
28		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	・製品使用時に想定されるリスクを洗い出し、技術会議等で対策を実施している。				3.9										12.4							
29		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	・顧客からのクレーム対応など、品質を保証する仕組みを構築している。 ・顧客の声を社内で共有するために、都度、担当部署から全部署に報告されている。											9										
30	製品・サービス	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	・開発時、部品の小型軽量化等を提案し、材料の使用量節約に努めている。 ・冷却液等に関し、環境負荷が小さい製品の採用に努めている。							6						12	13	14	15					
31		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	・生産活動で発生する廃棄物の量を削減し、かつ、可能な限り再活用できるよう努める。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																							
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17							
32		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	・町会に加入し、近隣住人と挨拶・対話を積極的にしよう社員に指導している。				4								9		11	12			14	15			17		
33		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	・「子供を守る安心の家」に登録し、看板の掲示と声掛けに努めている。 ・【予定】食料が足りない子供達への支援方法を検討する。				4											11					14	15			17
34		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	・社内イベント開催時には、地元産の米や食材を使用したものを調達するようにしている。												8	9		11	12	13							
35		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	・経営理念を明文化している。 ・経営者が、適時、経営理念及び経営目標を社員に説明し、共有している。													8	9										17
36		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	・経営理念にコンプライアンスの徹底が明示されている。 ・経営者が、適時、コンプライアンスの重要性を社員に発信している。																								16
37		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	・環境に及ぼす影響がある設備等については、担当者を任命し、適切な管理を行っている。																								16
38		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	・適宜ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、適切に対応している。																							16	17
39		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	・職制会議等でリスクを顕在化させ、経営計画及び年度目標に展開している。																								16
40		【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	・行政、教育、各種団体の呼びかけには積極的に参加している。 ・【予定】CSR方針の策定を検討する。																								16
41		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	・BCP及び災害対策マニュアルは策定済みであり、安否確認と避難訓練等を継続実施する。 ・担当部が全社員に自然災害研修を実施した。 ・関東経産局による事業継続力強化計画認定済。														9		11		13 13.1					16	
42		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	・後継者候補がいる。													8	9										17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものであっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
- ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）